



高速大判プリンターを最大限に活用し、地域に特化したサービスを提供

有限会社ラミネックスセンター

目的

- ・費用対効果の高い機器の入れ替え
- ・顧客サービスの拡充が期待できる製品の選定

アプローチ

- ・汎用性の高い大判プリンターの導入
- ・ハイスピード・ハイクオリティプリントが可能

導入効果

- ・印刷速度の速さと印刷品質の両立による顧客提案力の拡大
- ・従来機との両立であらゆるニーズに対応
- ・将来的な地域発展に貢献できる可能性

今なお都市として成長を続ける地域「沖縄」は、同県が推進する IT 政策などを活用することで、現在も多くの企業が参入するなど、日本でも有数の大都市を形成しつつある。そんな沖縄の複写業を支え続けてきた企業が「有限会社ラミネックスセンター」だ。同社は今回新たに HP PageWide XL シリーズを導入、その背景や狙いについて話を伺ってきたので紹介しよう。



有限会社ラミネックスセンター
代表取締役社長 徳門聡佳氏



那覇店店長 銘苅武氏



ラミネックスセンター那覇店

地域ニーズを満たすサービスの提供

有限会社ラミネックスセンター(以降、ラミネックスセンター)は、沖縄県那覇市にある那覇店および沖縄市上地にあるコザ店を持ち、複写業を中心としたビジネスを展開してきた企業だ。平成 29 年 4 月に開業 40 周年を迎えた老舗でもあり、地元 FM 局で古くから CM を続けるなど、沖縄本島では有名な存在となっている。

「弊社は、高温多湿で写真やカラーポスターなどの印刷物の劣化が激しいという地域特性を考え、印刷物のラミネート加工を中心にした複写業者として事業を始めました」と語る代表取締役社長の徳門聡佳氏(以降、徳門氏)。以来、同社は地域に特化したサービスを提供することで多くのユーザーからの信頼を勝ち得てきた。「沖縄の風土でも鮮やかな印刷物を長く使っていただきたいという思いから、大判プリンターを使ったカラーコピーもおおよそ 30 年前から始めています。」と那覇店店長の銘苅武氏(以降、銘苅氏)も言葉をつなぐ。

都市として成長を続ける沖縄県において、印刷物へのニーズは非常に幅広い。主に中小規模展開をしている商業利用が中心となるため、高品質・小ロットでの発注が多いのが特長だ。「いわゆる、オンデマンド印刷的な小回りの効いたサービスへの需要が高いというのがこの地域の特長ですね」と徳門氏。こうしたニーズに応えていくには、高性能な大判プリンターは必須

だったのだ。「ただし、昔の大判プリンターはなかなか期待した通りの品質が出なくて苦労したことも多かったです。良い色を出すために試行錯誤を続けてきたので、ノウハウがたまっていったのは結果的には良かったんですけどね」と銘苅氏は笑顔で語る。

地域に特化したサービスを提供している同社では、カラー印刷物に加え図面のコピーなども主力メニューのひとつになっている。そんな中、図面コピー用の大判プリンターの買い替え時期が差し迫ってきたのだという。「そこで、ただ単に図面コピー専用の大判プリンターを新しく用意するというのではなく、せっかくですから新たなビジネスも視野に入れられる要素を持つ製品が欲しかったのです」と語る徳門氏。様々な要件を考える中、候補に挙がったのが、HP PageWide XL シリーズだったのだ。

新たなニーズを創造してゆく

新たなニーズの獲得を目指す同社は、2016 年 11 月に新たな大判プリンターとして HP PageWide XL 5000MFP を導入した。「図面もグラフィックスも高品質で印刷できる。そんな期待を抱いての導入です」と徳門氏。同氏に導入後の第一印象を伺うと「何しろ速い。そして思った以上の印刷品質でしたね」と微笑みながら語ってくれた。

HP PageWide XL 5000MFP は、モノクロ、カラー



HP PageWide XL 5000MFP



グラフィカルな印刷物も鮮やかに、そしてスピーディーに印刷する



磁気シートを活用したPOP印刷。HP Latex 360の素材汎用性と耐候性を取り入れ、費用対効果の高い印刷物を提案している



の両方で同速のハイスピード印刷が可能で、速乾性に優れ色あせに強い専用開発された顔料インクを使用しているモデルとなる。このプリンターの導入により、図面のスキャンや印刷はもちろん、大判印刷のスピード納品なども可能になったのだという。「例えば、お客様の中にはカラー印刷をお急ぎでという方もいらっしゃいます。導入後、最初に8mのPOPをカラー印刷したときに感じたのはその印刷速度の速さでした。感覚的にはこれまでの半分も待たない感じでしたね。しかも印刷品質も高く、お客様も満足されていました」と銘苅氏。写真素材の点数やサイズなどの違いがあるため一概にはいえないが、ケースによっては数十分の程度まで待ち時間が縮小できている感覚があるのだという。

「弊社ではカラーコピーの需要も多いのですが、従来のプリンターだとどうしても時間が掛かります。レイアウトにもよりますが、例えばA1サイズだと1時間掛かると言うと驚かれる方もいらっしゃるのです。HP PageWide XL 5000MFPですと、スキャナーもついてますからこれに通ず時間も含めて同じA1サイズでも10分もあればカラーコピーができるケースだって実際にあります。もちろん仕上がりの品質も高く、お客様も納得いただいています」と銘苅氏。スキャン時間も高速でカラーコピーも得意なHP PageWide XL 5000MFPの特長を活かしたサービスが展開できるのは、顧客サービスを重視する会社にもうれしい結果なのだという。

また、同社はHP DesignJet Z6200も所有しており、こちらは水性大判インクジェットプリンターで8色フォトインクに対応した最高品質の印刷が可能なグラフィックス向きのモデルとなる。この2台の大判プリンターが揃ったことで顧客としては印刷クオリティやスピード、コストといった点で、より要件に見合ったサービスが選べることになる。「正直、HP PageWide XL 5000MFPのカラー品質が高く、ものによっては知識がないと仕上がりで見分けるのが難しいケースもあるぐらいです」と銘苅氏。「コストを抑えて早く印刷できるHP PageWide XL 5000MFP、コストはやや上がりますが写真品質の印刷ができるHP DesignJet Z6200。両者の違いをよくご説明してお客様に必要なサービスをご提案しています」と徳門氏は語る。

さらに同社の大判プリンターにはメッシュ素材を始め、様々な素材に対応する高い汎用性を持つHP Latex 360もラインアップしている。同プリンターは色再現性が高く、水性インクにも関わらず耐候性にも強いHP Latex Inkを使用しているため、環境にもやさしく、沖縄の気候下でも安心して使える。

「例えば、磁気シートにショップのメニューなどを印刷し、張り替え可能な薄い金属シートを用意すれば、季節やランチタイムなどのタイミングで自由にPOPを張り替えられます。こういった小回りの利いた商品の提案にもHPの大判プリンターはぴったりですね」と語る徳門氏。きめ細やかな顧客サービスを目指す同社は、HPの大判プリンターが持つそれぞれの特長を活かせるエキスパートといえるだろう。

沖縄の印刷業界の将来を見つめて

HP PageWide XL 5000MFPの導入によって提案の幅を広げることに成功したラミネックスセンター。これまでのサービスに加え、コストや印刷品質、納期などの違いによるメニューの確立も徐々に進んでいる。「HP PageWide XL 5000MFPにおいては、ハイスピード印刷、低コスト、十分な印刷クオリティ、こうした要件に合うお客様が多いと思いますから、これからは更に周知してより多くの方々に知ってもらい、どんどん利用していただきたいですね」と銘苅氏は語る。

「これからは沖縄にある印刷業者と連携をしつつ、大判印刷のニーズにおいても、お客様が必要とする印刷品質やロットによって領域を分け合うといった試みも必要だと考えています。複写業と印刷業がお互いにwin-winになるようなビジネスが展開できるとうれしいですね」と徳門氏は将来を語る。

「ここだからできる感動いっぱい！」をコンセプトに、エンドユーザーから法人まで、幅広い顧客へ向けて、最良のサービスを提供するラミネックスセンター。同社が目指す未来を実現すべく、HPもバックアップを続けていく。



記事を共有する

